

学び

人生100年時代の と共生が描く

未来像

～多様性とながりが築く持続可能な社会の未来～

全入時代における大学の意義、地域住民のしあわせ、障がい者支援活動、そしてコミュニケーションの大切さをテーマに、多様な視点から学びと共生の可能性を探ります。学び続ける喜びや人とのつながりが、誰もが安心して生きる社会をどのように形作るのか、講演を通じて未来への道筋を考えるシンポジウムです。

と
き
と
こ
ろ

令和7年

3月20日(木・祝)

入
場
無
料

13:30-16:00

13:00 開場

東広島市市民文化センター アザレアホール



「全入時代における大学の立ち位置
～大学に行くことにどんな意味があるのか～」

清水 壽一郎
広島国際大学 学長



総合司会
景山 愛子
広島国際大学
健康科学部医療経営学科
講師



「しあわせって何だろう～東広島市住民アンケート、Town&Gown の取り組みを交えて～」

田中 秀樹
広島国際大学健康科学部心理学科 教授



「わたらしさを実現する活動 ～臨床現場でみえてきた課題と現状～」

田川 雄一
広島国際大学健康科学部社会学科 助教



「伝わっていますか、あなたの気持ち～必要とされるしあわせ～」

久次 弘子
東広島熟年マイスター教育講座 学長

お申込み
お問合せ

電話またはハガキ、ファクス、メールに「3/20 シンポジウム」と記入の上、①お名前 ②電話番号 ③参加人数を（公財）東広島市教育文化振興事業団までお送りください。定員 200 名（先着順）
〒739-0043 東広島市西条西本町 28-6 ◆TEL(082)424-3811 ◆FAX(082)423-5251
メール center01@hhface.org

共催：広島国際大学、公益財団法人 東広島市教育文化振興事業団

申込み用 QR

